

取組の概要

- 計画作成主体：中札内村地域担い手育成総合支援協議会
 対象品目：馬鈴しょ（産地面積 900ha）
 主な取組主体：中札内村種子馬鈴薯耕作者協議会
 中札内村農業協同組合
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 基準（H27年度） 77,660円/10a
 目標（H32年度） 90,536円/10a
 導入施設等：生産支援事業（機械リース）
 （馬鈴しょ植付機、収穫機、自動操舵システム）

北海道
中札内村
中札内地区



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

戸当たりの作付面積が拡大する中、労働力不足等から適期での播種・収穫やJAでの作業(播種・収穫)受託体制の拡大等が課題となっていた。

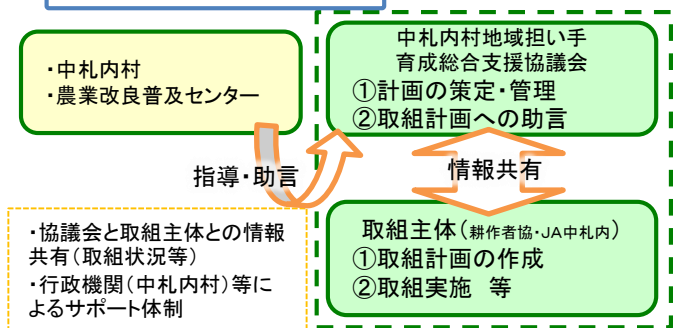
このことから、省力的かつ効率的な播種・収穫体制を確立し、産地面積の維持と品質の向上を実現し、農家所得の更なる向上を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①適期での播種・収穫の実現とJAにおける作業受託体制の拡大を図るため、機械リース導入を支援

推進体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・試験成果をもとに関係機関と連携した効果・効率的な植付機運用方法を検討
- ・農機メーカーと連携した地域に適した収穫機能の実証試験を実施
- ・シストセンチュウ抵抗性品種への転換による澱粉原料用馬鈴しょの安定生産

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ① 播種及び収穫作業における大幅な労力削減と作業効率の向上
- ② 適期播種及び適期収穫による良品生産と販売価格の向上

【事業実施による間接効果】

- ① シストセンチュウ抵抗性品種の導入による良質な種子馬鈴しょの安定供給と生産性の向上



販売額の増加

～馬鈴しょの販売額～

